

満州族と漢民族とは民族が違ふ

清は満州族であります。清朝は、いざという時に帰郷する郷里を温存するために、漢民族を満州に移民させませんでした。ところが清朝が滅び、日本が満鉄を統治し、鉱業を盛んにし、治安がよくなると、漢民族がどんどん満州に入ってきました。年間百万人も移住してきました。

そもそも満州族と漢民族とは民族が全く違うのです。共産党の植民地政策、つまり共産党が植民地を自分の国にするための方法についてですが、例えばチベットを例にとりますと、チベット族は漢民族とは全く民族が違います。人種も言語も宗教も違うのです。チベットという地域は、かつて漢民族の支配下に置かれたことはいりません。それなのに今、中国はチベットを植民地としています。こうした地域を中国は自国領にするためにどうするかというと、そこに漢民族を送るわけです。泥棒したりして監獄に入った奴を解き放してチベットに送るのです。その他、奨励金を出してまで移住させます。こうして漢民族がチベットの地にどんどん増える、そこでチベットは中国の土地だと主張するわけです。これと同じことを、中国は今、満州でも行っています。満州を東三省と改名して、どんどん移民を送り、自国領に組み入れています。ソ連もこれと同じことをバルト三国でやりました。バルト三国に住んでいる民衆を何万人と引き抜いて囚人同様にシベリアに連行し、その留守にロシア人をどんどん移住させたのです。